慶應義塾大学学術情報リポジトリ

Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	ヴァレリ・モラン 第十六世紀のメードストーンに対する亡命新教徒の定住
Sub Title	Valerie Morant, "The settlement of Protestant refugees in Maidstone during the Sixteenthcentury"
Author	渡邊, 国広
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1952
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.45, No.11 (1952. 11) ,p.811(73)- 813(75)
JaLC DOI	10.14991/001.19521101-0073
Abstract	
Notes	論文紹介
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19521101-0073

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって 保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

論文紹介

「Varren C. Scoville, "Minority Migrations and the Diffusion of Technology", Journal of Economic History Vol.11 No.4 Fall pp.

過を示すことにする。 過を記述したこともあったが、然し迫害を避けて亡命 での場合が関した。この場合外國 後の普及の過程に関しては従來少しも知られていないから、技 での場合が関 での場合について技術發展の經 での場合について技術發展の經 での場合について技術發展の經 での場合について技術發展の經 での場合について技術發展の經 の場合について技術發展の經 での場合について技術發展の經 での場合について技術發展の經 の場合について技術發展の經 の場合について技術發展の經 での場合について技術發展の經 での場合について技術發展の經 の場合について技術發展の經 の場合について技術發展の經 での場合について技術發展の經 でいる。 でいる。 の場合について技術發展の經 でいる。 でいる。 でいる。 の場合について技術發展の經 でいる。 でいる。 でいる。 の場合についるが、最 には、 の場合についるが、最 には、 の場合についるが、最 には、 の場合についるが、最 には、 の場合についるが、 のるにしいるが、 のるにしいないるが、 のるにしいるが、 のるにしいるが、 のるにしいるが、 のるにしいなが、

テルダム、ロッテルダム、ハーレム及びユトレヒトの繁榮が目して州内の各地に早くも毛織物生産の展開を見た。特にアムスけて新潋徒はポーランド、ジーランドの二地方へ移住し、かくランドにとつて劃期的な出來事であつた。スペインの重壓を避一五八五年にアントワープが陷落したが、これは北ネーザー

關しても亦刮目すべきものがあつた。 になつたが、オランダ以外の諸地方に亡命した新教徒の活動にになったが、オランダ以外の諸地方に亡命した新教徒の活動に優しく、前貸制に依つて新種の毛織物が大量に生産されるよう

ガラス製品の工場をも創設し、又製紙技術の向上に資すること として著名となり、バーンステイプルやデボンシャーにおい 進展し、例えばロンドンにおいては在來の毛織物や麻織物の生 織物が未仕上の儘で輸出されなくなつたのも同じ新教徒の重大 實にこの新教徒であり、又仕上や染色の設備が完成されて、 んに製造されるようになつた。亡命者はこのほかに窓ガラスや はアントワープから輸入した綿絲を材料とする上質レ 産を壓倒する程であつたし、又メードストーンは縫絲の産出地 出したばかりではない。この人々が傳えた生絲を縒る新方法は 大量の職人を前貸制に依つて統率し、薄手の毛織物の生産に乗 な功績の一つに屬したのである。移住者は多く同職組合の束縛 蝟集して爾後の經濟發展における重要な指導者となつたのであ を避けて農村に進出し、 つた。イギリスに幾個もの梭を持つ複雑な織機を紹介したのは イギリスにおいて早くも質用に供され、絹織物の生産が急速に 例えばイギリスに來住した新教徒についてであるが、亡命者 ェスターに約千三百人といった具合に大擧して來住し、又サ ロンドンに約一萬人、 チ、カンターベリー、サザンプトンその他にも多く イギリスにおける金屬工業の發展に對する亡命 ノーリッチに四千 同職組合が許可した數を相當に上廻る 人から六千人、 毛

に華々しくもあり又かくも多方面に亙つていたのであつた。步に對する亡命新教徒の寄興はイギリス一國について見ても實者に依つて新種の根菜や野菜が紹介された程であり、技術の進協肥料の使用が教示されて生産が増大しただけではない。亡命屬の細工技術も大いに進步した。尚農業に對する貢獻について者の功績は無視し難いし、又多くの寶石職人の來住を機に貴金

ドイツ農業は好況を迎えることが出來たのであつた。ラガス・花キャベツ・馬鈴薯・高級果樹・大青等が紹介されてく、新教徒の來住を機に耕地は擴大し、桑・煙草・薊・アスパ

(渡邊國際

ヴァレリ・モラン

『第十六世紀のメードストーンに對する

亡命新教徒の定住』

(Valerie Morant, "The Settlement of Protestant Refugees in Maidstone during the Sixteenth Century", Economic History Review Second Series, Vol. IV, No. 2, 1951. pp. 210-214)

新教徒は大學各地に散住した。これ等の亡命者は一般にリンネスペイン王フィリップ二世の迫害を避けてネーザーランドの

徒が演じた役割には實際如何なるものがあつたというのであろした先々において經濟の發展に貢獻するところ大であつた。した先々において經濟の發展に貢獻するところ大であつた。した先々において經濟の發展に貢獻するところ大であつた。中ノの各都市を始め、ドーヴァー、サンドウィッチ、ヘスチンリルテェスター、サザンプトン、カンターベリー、メードストーンの各都市を始め、ドーヴァー、サンドウィッチ、ペスチンののかがありたも重大な影響を及ぼしたが、黒して亡命新教像秀な技術の持ち主であつたこれ等の亡命者は上述した諸都市がス、ロムニー、ハイスの五要港に居住することを許された。優秀な技術の持ち主であつたこれ等の亡命者は上述した諸都市が、出織物、恵手の毛織物、皮製品、紙、ダイル、煉瓦、武器、火ル、絹織物、薄手の毛織物、皮製品、紙、ダイル、煉瓦、武器、火ル、絹織物、薄手の毛織物、皮製品、紙、ダイル、煉瓦、武器、火ル、絹織物、

> これ等の亡命者が果した役割は相當に大であつたと見なけれ 力な財源となり、從つて財政的收入の面に對する寄興におい の割合で業者から徴收された金額の全部がその儘この都市の有 グログレイン各一反に附き四片、ベイ一反に附いて同じく四片 年にはグログレイン、モカドゥー、袋布、 り、その手敷料として袋布一反に附いて一片、大幅の毛織物、 から任命された検査官の審査を受けなければならない規定があ 物として知られたが、市場において販賣される前に亡命者の間 の製造者であつた。袋布、ベイ、グログレインが一五六八年に おいて實際に生産されるようになつていた。これ等は新型の織 は旣にメードスト ンダーズのニーベル、デインズ、ガンの出身者であつたこれ等 して來た。 ク街を中心として旺盛な經濟活動に從事していたのであつた。 の技術者は一五八五年には四十三家族百十五人に増加し、ワイ くも一五六八年にはメードスト 來住者の大部分はメードスト 人を含め一世帶最高十二人を越えない三十家族が許されて早 れていない多くの他の技術や知識」 かくしてロ ーンの定期市において小賣され、又一五六九 ンドンに一先ず落着いた者のうちから使 ーンにおいても毛織物や絹織物 ーンに來住し、主として東フラ 毛織物がこの都市に を持つ人々を希望 7

重されて住居の保證をすら得ていたこれ等の亡命者は同時に有れたというだけではなかつた。優秀な技術者として最初から尊これ等の亡命者の影響は然し単に經濟的な面において認めら

ならないであろう。

面に對する影響も見遁し難い役割の一つというべきであろう。 常な助けとなり『怠惰をかなり除いたり遠ざけたりしている」 常な助けとなり『怠惰をかなり除いたり遠ざけたりしている」 常な助けとなり『怠惰をかなり除いたり遠ざけたりしている」 のであつた。「大人しくて有爲な外國人」はかくしてこの都市の のであつた。「大人しくて有爲な外國人」はかくしてこの都市の 領風の刷新に貢獻し、最の財政面における寄興と並んでかかる に對する影響も見遁し難い役割の一つというべきであろう。 正介書と、ことが張要されていた。かくして來住者は「紡がせた になめ師となりこの都市の人々のための技術指導に當らなけれ

その子弟」 散するに及んでメードストーンの新教徒も再度の移住を餘儀な においてこれ等の外國人が果していた役割は相當に根張く、 の實際面に直接關係していたから、メードストーンの縫絲生産 はその維持も困難な程であつて、織物生産の主要な部分は一六 行つたが、亡命者の下において習得した未熟な技術を以でして 物生産はこの都市に居住する「王國生れの臣民」の手に移つてくされた。かくして從來迄亡命者の掌握するところであつた織 して偶然なことではなかつたのであつた。 二〇年迄には完全に沒落してしまつていた。但し「外國生れや 残留者の大部分がメードストーンの縫絲生産を依然として獨 ト州に來住した織物業者がジェイム一世の壓迫から國外に退 亡命者はメードストーンにおいてかくも勢力があつたが、ケ 熟練を要しない仕事に土着の人々を使用した以外は生産 ンの縫絲が を含めても常時僅かに二十三人に過ぎなかつたとい 「オランダ人の品物」と呼ばれたのも決

W・H・ホスフォード

『第十七世紀の園牆に關する一目擊者の報告』 - (W. H. Hosford, "An Eye-Witness's Account of a Seventeenth-Century Enclosure," Economic History Review. Second Series, Vol. IV. No. 2. 1951. pp. 215—220)

においても正に有意義な發見であつたのである。 中のにめ以外の園牆の非常に早い實例を傳えているという意味 この記錄の發見は、第十八世紀において寧ろ普通に見られた牧 この記錄の發見は、第十八世紀において寧ろ普通に見られた牧 の一村)における園牆の實情を知ることが出來たが、貴重な の一村)における園牆の實情を知ることが出來たが、貴重な の記錄の發見は、第十八世紀において寧ろ普通に見られた牧 の記錄の一村)における園牆の實情を知ることが出來たが、貴重な

繭 文 紹 介